

# 『霊の戦い』に関するナイロビ声明

一宮基督教研究所

安黒務

## 目次:

|                 |     |
|-----------------|-----|
| 導入              | 1   |
| Why ナイロビ声明 Now? | 2   |
| What ナイロビ声明 ?   | 3   |
| 『悪と神の世界』        | 4-5 |
| 『天使論』           | 6-7 |
| 注文・支払方法         | 8   |
| 郵便振替用紙          | 9   |

## 『ナイロビ声明』-それはソフト・ランディングできる滑走路

今回、関西ミッション・リサーチ・センターから「霊の戦い-その聖書的・包括的理解に関するナイロビ声明」が、拙訳で出版されました。出版に際し提供されました多くの先生方のご協力に心より感謝します。

この小冊子の推薦文では、ローザンヌ・ネットワーク・ジャパンの世話人であり、日本福音主義神学会西部部会理事、神戸ルーテル神学校教授である正木牧人先生が、**霊の戦いに関するローザンヌ運動の中での取り組みの歴史的概略とまとめ**を、そしてそれが今日の宣教学の中でどのような位置づけを持つのかと、このテーマを理解する**マクロな視点からのパースペクティブ**を提供してくださっています。

さて日本の福音派は90年代以降、このテーマで乱気流に巻き込まれた飛行機のように、誤解・混乱・亀裂を経験してきました。しかし**今ようやく視界が開け、安心してソフト・ランディングできる滑走路**を見出し



アフリカ大陸のケニアの首都、ナイロビにて

たように思います。それが『霊の戦いに関する聖書的・包括的理解に関するナイロビ声明』です。この声明は、『霊の戦い』について**賛成派も反対派もともに受け入れられる聖書的かつ包括的なガイドライン**を提示しています。

小冊子のみでは注目すべき焦点がぼんやりとしたり、理解が浅くなったりする懸念がありますので、二つの補助教材を用意させていただきました。**「ナイロビ声明」解説講演DVD**やその神学的背景研究としての**「悪の問題」「天使論」特別講義BD-R**(ブルーレイディスク)と一緒に学ばれますとこのテーマをより深く、また立体的に学ぶことができます。

発題講演準備のために翻訳しているとき、「ナイロビ声明は、福音派全体で共有されるべき声明である」と確信したのである。

\*\*\*\*\*

## 「**霊の戦いに関する聖書的・包括的理解のためのナイロビ声明**」

解説講演と質疑応答 DVD

2008年7月1日 JEC 牧師会講演概要 : 一宮基督教研究所:安黒務

\*\*\*\*\*

### 1. Why 『ナイロビ 2000 声明』, Now?

なぜ今、『ナイロビ 2000 声明』なのか。それは今年の夏、関西聖書学院を会場として、日本リバイバル・ミッションのセミナーが開催されることになったからである。宣教協力量において良好な関係にあるのだが、「霊の戦い」の教えについては、微妙に意見を異にする点もある。そこで今回は特に「JEC 内部で教職者によって、説明が異なることは良くないので、JEC 牧師会としての見解をまとめてはどうか」ということが始まりであった。そして、話し合いの基盤となる発題講演を依頼された私が、多くの書籍・論文等から適切な指針を探しあぐねている中で、親しい知人・友人からの情報・資料の提供を受け、「JEC 牧師会としての**コンセンサスを模索する上で最良の資料**」であると確信するものを見出した。それが、『**霊の戦いに関する聖書的・包括的理解のためのナイロビ声明**』であった。準備のために翻訳しているときに「**ナイロビ声明は、福音派全体で共有されるべき声明である**」ことを確信した。そこで急ぎ、親友の正木牧人先生を通し、ローザンヌ・シリーズの翻訳の窓口である関西ミッション・リサーチ・センターと連絡をとった。その責任者である有木先生、鍋谷先生、子安先生、正木先生たちの尽力により、KMRCとして翻訳・出版の決議をいただき、またローザンヌ委員会総裁のダグラス・バーゼル氏、ナイロビ 2000 の論文集の編集者スコット・モーレイ氏、ワールド・ビジョンのジョージョ・パーマー氏の三者の許可をいただくことができた。

### 2. What 『ナイロビ 2000 声明』?

さて発題講演は、JEC における「**霊の戦い**」に関する指針作成に益するとされる『ナイロビ 2000 声明』とは一体何なのか、との問いかけで始められた。それは、「世界伝道のためのローザンヌ委員会」の下、2000年8月にアフリカのケニアの首都、**ナイロビで開催された「霊の戦いに関する協議会」**から出された**声明**で、解説講演はそれを説明し JEC にあてはめるかたちでなされた。この声明は「**世界伝道と霊の戦いの関連性**」について様々な捉え方がある中、全世界より 60 人の神学と実践の専門家が参集せられ、**聖書的・歴史的・神学的・今日的・地域的・宣教的・戦略的な包括的理解**が「①共通の基盤、②懸念される事柄、③意見に相違のある領域、④さらなる調査・研究を要する事柄」の四つの分野に見事に整理され、声明として出されたものである。この声明は、特定の見方をもつ側につきんとして作成されたものではなく、**論争をもって現われきたる主題**に関し、**福音主義的思索を広げる**ことを意図して作成されたものである。この声明が神の栄光のため「**霊の戦い**」に関する**率直な議論、真剣な熟考、実際的な奉仕**を刺激し、**学び活用される**ことが期待されている。声明は拙訳で関西ミッション・リサーチ・センターから出版されるので、この

小さな紙面では、ポイントとなる事柄のみを紹介させていただく。

- ① **共通の基盤**-(1) 神学的主張においては、「組織神学」の“**中心的教理**”の枠組みの中に、「天使論」の中の墮落した天使である「**悪魔論**」を“**周辺の教理**”として位置づけて扱うことを、(2) **実践における霊の戦い**においては、a) 「歴史神学」の視点から、古代教会より伝道の歴史には「**力の対決**」が同伴していたこと、そして今日の第二・三世界の宣教とに類似性があることから、西欧の「**機械的世界観**」に影響されたあり方がキリスト教の全歴史を代表するものとは言えないこと、b) 霊の戦いについては、攻撃的であるよりは、**善をもって悪に打ち勝ち、愛によって人々を勝ち取る「穏やかな侵入**」が大切であり、地方教会と信仰生活の重要性・優先性が主張されている。これらは JEC の福音理解と教会論・宣教論のあり方への示唆である。
- ② **懸念される事柄**-(1) 霊の戦いは先進国では世俗化やスピリチュアリティの問題、後進国ではアニミズムやシャーマニズムの問題等、**異なった社会で異なったかたちにおいて表現される**ゆえ、ひとつの社会で有効とされた戦略を別の社会で**無批判に使用**することの危うさが強く警告されている。(2) **人間の行動の代わりに悪霊を非難する**かたちでの**諸霊への行き過ぎた強調**に対して注意が喚起されている。それはクリスチャンの**倫理の基盤を破壊**する危険がある。聖書の教理の中心は、神であり、人間であり、キリストであって、悪霊ではない。**焦点は罪の問題また肉の問題**である。「個人的責任」を強調する包括的な罪論と人格と品性に焦点をあてる包括的な聖化論に注目すべきである。これらは JEC の宣教戦略と人間論・罪論・聖化論のあり方への示唆である。
- ③ **意見に相違のある領域**-(1) **地域を支配する霊の問題**は、その教えと実践に対し聖書の保証・神学的権威の度合いが**中位の仮説**ないし**下位の推論**であり、霊の戦いの方法論についての**真理が経験に基づいて立証されるのか、否か**で意見の相違がある。(2) 他の人々がこの研究方法を確信していない中で、ある人々は**霊の戦いの一般原則**を明らかにする手段として**霊の戦いのミニストリーの活発な実験**に従事している。マルコーシュの出版物やリバイバル・ミッションの取り組みは、ここに位置づけられる。質疑の中においては、「戦いの祈り」よりも「**とりなしの祈り**」の大切さが、そして「**霊的地図の作成等の地域研究**」も**とりなしの観点において限定的価値**を有することが指摘された。
- ④ **さらなる調査・研究を要する事柄**-(1) 霊の戦いの理解や神学を定式化することにおいて**文化と経験がひとつの役割を演じる**こと、(2) 実証できる方法においてミニストリーの経験を**評価することを認める基準や方法**、(3) 「**解離性同一性疾患**」等について解放のミニストリー従事者と医療・心理学の**専門家との対話**、(4) 人間存在すべてについて語る**包括的な聖化の理解**等が課題として挙げられており、福音派諸教会が今後取り組むべき視界が広がっている。

- 1  **キリスト教教理入門**
  - ① 1. 神学をすること
  2. 神の啓示
  3. 神の性質
  4. 神のみわざ
  5. 人間
  6. 罪
  - 
  - ② 7. キリストの人格
  8. キリストのみわざ
  9. 聖霊
  10. 救い
  11. 教会
  12. 終末
  -
- 2  **第四部 神のみわざ**
  - 12章 神の計画
  - 13章 神の原初のみわざ:創造
  - 14章 神の継続的働き:摂理
  - 15章 悪と神の世界:特殊な問題
  - 16章 神の特別な代理人:天使
- 3  **第15章 悪と神の世界:  
一つの特別な問題**
  1. 問題の性質
  2. 諸種の解決策
  3. 悪の問題を扱うための諸主題
- 4  **1. 問題の性質**
  1. 悪の問題
  2. 二種類の悪
    1. 自然界の悪
    2. 道徳的悪
  3. 取り扱い注意
    1. 牧会的必要
    2. 知的な面での侮辱
- 5  **2. 諸種の解決策**
  1. 有限主義—全能性の拒否
  2. 神の慈しみ深い善性という概念の修正
  3. 悪の否定
- 6  **3. 悪の問題を扱うための諸主題**
  1. 人類の創造の付随するものとしての悪
    1. 付随するある特徴をもつ人間を創造
    2. 自由意思がなければ、真の人間にあらざ
    3. 不従順により、刑罰を受ける可能性
    4. 悪の可能性なしに創造すること不可
- 7  **3. 悪の問題を扱うための諸主題**
  2. 善と悪を構成するものについての再評価
    1. 神の次元
    2. 時間という次元
    3. 悪の範囲に関する問い
- 8  **3. 悪の問題を扱うための諸主題**
  3. 一般的な悪の結果としての一般的に悪

1. 人類という種全体の普遍的罪深さ
  2. 道徳的な悪に対する墮落の影響
  3. 罪を犯したのは、人間である
- 9  **3. 悪の問題を扱うための諸主題**
4. **特定の罪の結果としての特定の悪**
  1. 警察官の死は、犯罪者の罪深い行為
  2. 目の不自由さは、特定の罪の結果なのか
  3. 個々の罪びとに不幸な結果をもたらす実例
  4. 人は種を蒔けば、その刈り取りもする
- 10  **3. 悪の問題を扱うための諸主題**
5. **悪の犠牲としての神**
  1. 悪の問題解決のキリスト教の貢献
  1. 神の痛み・悲しみ
  2. 受肉の事実
  3. 悪の結果を引き受け、悪から解放
- 11  **3. 悪の問題を扱うための諸主題**
6. **死後のいのち**
  1. 不公平・罪なき者の苦しみ
  2. 地上の人生のみで解決不可能
  3. 死後のいのち・死後の裁きの視点で解決

- 1  **第16章 神の特別な代理人：  
天使**
1. 良い天使
  2. 悪い天使
  3. 天使の教理の役割
- 2  **1. 良い天使**
1. 用語
  2. 天使の起源、性質、地位
  3. 天使の顕現
  4. 天使の能力と権限
  5. 組織
  6. 難しい用語
  7. 天使の活動
- 3  **1. 良い天使**
1. **用語**
    1. 天使を指して最も使用される語
      1. ヘブル語: マラク
      2. ギリシャ語: アンゲロス
        1. 使者、メッセージを伝達する役割
    2. 他の用語
      1. 旧約: 聖なる者たち、見張りの者、つどい、集まり、軍、陣営、万軍
      2. 新約: 天の使いたち、天の軍勢、霊、主権、力、王座、支配、権威
  3. 御使いのかしら: ミカエル
- 4  **1. 良い天使**
2. **天使の起源、性質、地位**
    1. 主が命じて造られた(詩篇148:2,5)
    2. 非物質的・霊的存在
    3. 能力において人間にまさっているが、限りのある被造物
    4. 膨大な数の天使の存在
- 5  **1. 良い天使**
3. **天使の顕現**
    1. 天使を見ることはできない
    2. 女性の姿の天使の箇所はない
    3. 天使に翼があるとするのは、単なる推測
- 6  **1. 良い天使**
4. **天使の能力と権限**
    1. 人格的で、道徳的な存在
    2. 人間を超えた知識をもっている
    3. その力の行使には、神の承諾が必要
- 7  **1. 良い天使**
5. **天使の活動**
    1. 絶えず神を賛美し神に栄光を帰している
    2. 神のメッセージを人間に啓示し、伝達す
    3. 信仰者に仕えている
    4. 神の敵対者にさばきを執行する
    5. 再臨に随伴する
    6. 「守護天使」の概念は、ユダヤ人の伝承であり、その聖書的証拠は不十分である
- 8  **2. 悪い天使**

1. 悪霊のかしら
  2. 悪霊の活動
  3. 悪霊憑き
  4. サタンと悪霊の運命
- 9  **2. 悪い天使**
1. **悪霊の起源**
    1. 神によって創造された天使である
    2. 初めは良いものであったが、罪を犯し悪いものとなった
    3. その時期は、創造完了後と人間の墮落の間である
    4. 墮落した天使たちは、地獄の暗闇に落とされたが悪い活動遂行の自由はもっている
- 10  **2. 悪い天使**
2. **悪霊のかしら**
    1. 墮落した天使たちのかしらに聖書が与えている名称
      1. ヘブル語:サタンー神に敵対して行動することを意味
      2. ギリシャ語:ディアボロスー悪魔、敵対者、告発者
    2. 他の用語ー悪魔の特徴・活動を意味
      1. 誘惑者、バルゼブル、敵、悪い者、ベリアル、大きな竜、偽りの父、人殺し、罪を犯す者
      2. 悪魔ー神とキリストのわざに反対することに従事
    - 3.
- 11  **2. 悪い天使**
3. **悪霊の活動**
    1. 悪霊たちは、サタンの手下として、世界中で活動
    2. あらゆるかたちの誘惑と欺きに従事
    3. とりわけ、神の民の霊的成長に反対する
- 12  **2. 悪い天使**
4. **悪霊憑きの問題の性質**
    1. 聖書ー悪霊憑きに大きな関心
    2. 多種多様な形、多様な度合い
    3. 人間や動物の中に居住し、話しうる
    4. 病いと悪霊憑きは、識別・区別が必要
    5. 手の込んだ定式文ではなく、ただ命令
    6. 過去に限定されず、未発達文化や今日も
- 13  **3. 天使の教理の役割**
1. 難局にあって助けとなる
  2. 神に対する天使の賛美と奉仕
  3. 天使の墮落は、我々への警告
  4. 悪い天使について知ること誘惑の危険と巧妙さについて警告
  5. 悪魔たちの力には明確な限界がある

- 誰もが知りたいローザンヌ宣教シリーズ No.61 「**霊の戦い-その聖書的・包括的理解に関するナイロビ声明**」小冊子 =定価 500 円(税込)
- 2008.7.1 の JEC 牧師会における「ナイロビ声明」**解説講演・質疑応答 DVD**(80 分)に編集したものです。大変分かりやすく仕上がっています。 =通常価格 1300 円を**特価 500 円**(税込)
- 2008.6 月に関西聖書学院でのエリクソン著『キリスト教神学』をテキストにした「組織神学」講義で、ナイロビ声明を深く正しく理解する上で助けとなる章、「神のみわざ論」の中の「**悪の問題**」「**天使論**」を 6 時間かけ、このテーマの理解の仕方、考え方、扱い方を丁寧に学んだものです。「ナイロビ声明」解説講演・質疑応答(80 分)も加えて計 7 時間 20 分の **BD-R(ブルーレイ・ディスク)**に編集しています。=通常価格 7300 円を **特価 1000 円** (税込)
- できるだけ多くの方に提供させていただきたいので、従来の価格体系(60 分=1000 円)をはずし、『ナイロビ声明』**発売記念特価**とさせていただきます。現在、注文を受け付けています。注文順に発送させていただきます。
- 注文・申込は、下記の要領でお願い致します。**送料は無料**です。
  - 郵便振替用紙(添付してあります。また郵便局にもあります。)
  - 口座番号: 01110-0-15025
  - 加入者名: 「一宮基督教研究所」
  - 通信欄(希望の品物と数と合計金額をお書きください。)
    - ◇ 「**霊の戦いに関するナイロビ声明**」小冊子: 定価 500 円× 冊=
    - ◇ 「**ナイロビ声明**」解説講演・質疑応答 DVD(80 分): 特価 500 円× 枚=
    - ◇ **ナイロビ声明を理解するための「悪の問題」「天使論」特別講義**+「ナイロビ声明」解説 BD-R(7 時間 20 分): 特価 1000 円× 枚=

● 振込の数日後「払込通知票」がこちらに届きます。振込確認後、注文の品を依頼人住所に送らせていただきます。

● 教会の書店等の運営者で、「委託販売」を希望される方がありましたら、下記の「あぐろ」にご相談ください。

● 問い合わせ等ありましたら、下記までお願いします。

\*\*\*\*\*

〒671-4135

兵庫県宍粟市一宮町安黒 3 3 2 : 安黒務

携帯電話: 090-5064-7313、メールアドレス: aguro@meth.biglobe.ne.jp

メイン HP: <http://www.aguro.jp/>、郵便振替: 「一宮基督教研究所」01110-0-15025

\*\*\*\*\*